

ハイブリッドコートZERO 施工手順説明書

施工前の注意点

- クリヤー塗装されていない車またはクリヤー塗膜のはがれ、劣化している車には施工できません。
- 施工前の下処理として、中古車の場合はウールパフポリッシャでボデー表面のザラ付きや油分を除去し、光沢が出るまで磨いて下さい。機材を使わず手作業だけで下処理をする場合は、耐久性が短くなります。
- 新車の下処理は、洗車もしくはきれいなクロスで汚れを拭き取って下さい。
- ボデーが熱い場合や、炎天下での作業はしないで下さい。ムラが発生する恐れがあります。
- 施工前は、水分をしっかりと拭き取って下さい。
- 濃色車の施工時に拭きムラが気になる場合は、水で濡らしたクロスで拭いた後に、乾拭きをして仕上げて下さい。(工程 7)

準備するもの

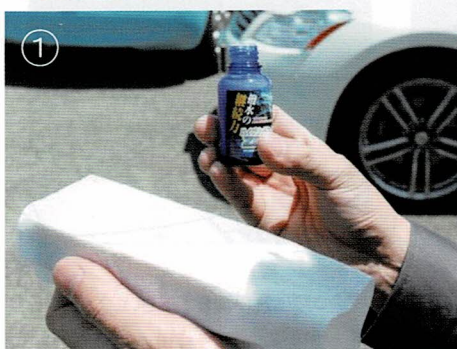
- ハイブリッドコートZERO ● 塗り込みスポンジ ● 不織布 ● 拭き取りクロス
- 水拭き用クロス(濃色車施工時に)

コート剤1本(100ml)でカラークラス外側塗装面を4台分施工できます。
窓ガラスや内側塗装面等を施工する場合は1台につき 35~40ml必要です



必要であれば
水拭き用クロス

施工方法



不織布を巻いた塗り込みスポンジを用意し、コート剤をよく振って中身を攪拌する。



15~20 滴を目安に、不織布全体に満遍なく液を含ませる。

液が少量だと効果が発揮されないため、しっかりと不織布が湿る程度まで液を含ませる。



縦方向に塗りのばしていく。このとき1/3程度パターンを重ねて塗りのばすのが理想。

ボデー表面が液で濡れている状態が確認できればOK。



塗りのばしていき、ボデー表面が液で濡れているのが確認できなくなった段階で、5~10滴ほど不織布全体に液を足す。



液を足したら、引き続きパネルの端まで塗りのばしていく。



次に横方向へ同様の方法で塗りのばしていく。

先の工程で十分に濡れているようであれば液を足す必要はないが、間違いなく施工したい場合は再度 5~10 滴ほど液を足して塗ると良い。



全体を塗り終わったらすぐに仕上げ用クロスで拭き上げる。(必要に応じ、水拭き用クロスで拭く)



Finish 施工後は 12 時間以上 濡らさないようにしてください。



ガラスへの施工も同様の工程で作業が可能。

ガラスに施工する場合は、事前に油膜除去剤で油膜等を除去して下さい。

液が乾燥するとシミやムラの原因になるため、すばやく拭き取る。
また、気温が高い時やパネルが熱い時は乾燥時間が早まるため注意して施工する。